

なるほど!
ザ・ファンド

Q & A

Vol.224

Q.

資産運用では「大きな損失」を抑えることが大切？

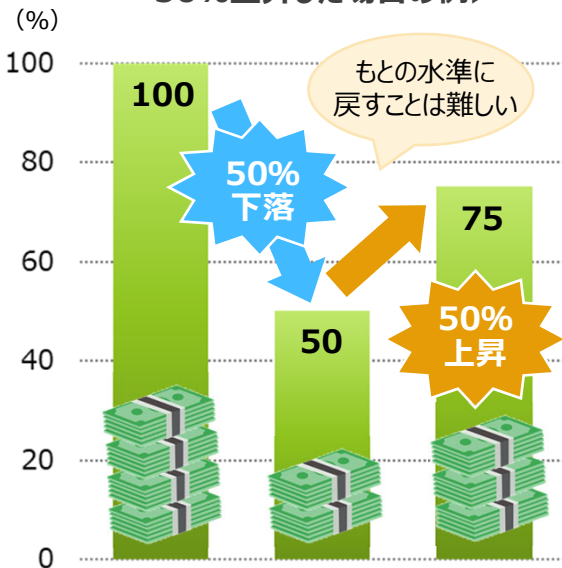
A.

「大きな損失」を被った場合、その損失を取り戻すためには、より高いリターンが必要になるからです。

- ◆「大きな損失」を抑えることがなぜ大切なのでしょう。例えば、10,000円の株価が50%下落し、5,000円になったとします。その後、そこから50%上昇した場合であっても、株価は7,500円にしかならず、元の10,000円に戻ることができません。50%の下落分を取り戻すためには、株価が2倍、つまり100%上昇する必要があります。また、10,000円の株価が50%上昇の15,000円になり、その後、そこから50%下落した場合でも、株価は7,500円まで下落してしまいます。
- ◆これらから言えることは、**持っている資産の価値が大きく下落してしまうと、損失を取り戻すことが非常に難しくなってしまう**ということです。損失が大きくなればなるほどその難易度は上がります。また、**大きな利益も大きな下落によって失ってしまう**ほか、元本まで損なってしまう可能性があります。損失を取り戻すために、高いリスクを受け入れ、リターンを追いかけることが良い結果をもたらさない可能性もあります。
- ◆近年の金融市場では、思いもよらない出来事によって市場が大きく振られる局面が度々起こっています。そのため、**資産運用を行うにあたっては、いかに「大きな損失」を抑えるかがより重要**になっていくと考えられます。

「大きな損失」は取り戻すことが難しい

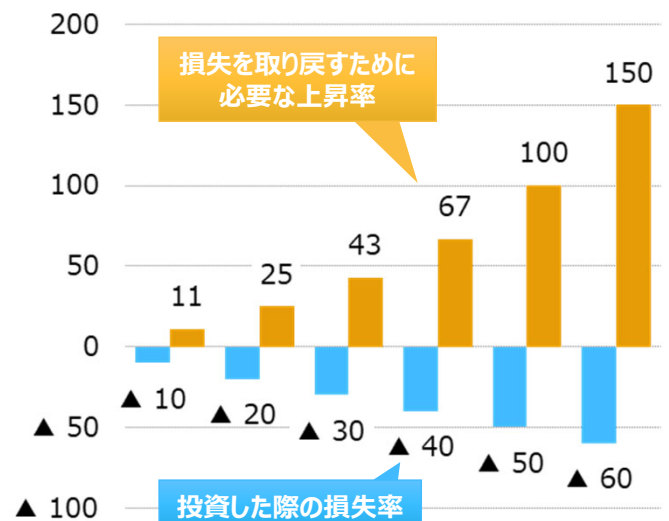
＜資産が50%下落し、その後、50%上昇した場合の例＞



資産の損失率と上昇率の関係

＜資産の損失率と上昇率の関係 (%)＞

例えば、投資した際に40%の損失を被ると、その損失を取り戻すためには67%の上昇率が必要になります。



※上記はシミュレーションであり、実際の投資成果ではありません。また、将来の運用成果等を保証するものではありません。



【重要な注意事項】

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。

＜ご留意いただきたい点＞

■この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただけます。■リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込む等のリスクがあります。■リスク性商品を中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。■くわしくは、三井住友銀行店頭の商品の説明書等を必ずご覧ください。

